
	<p>①各団の活動報告</p> <p>江南第1団 3団</p> <p>日進第2団</p> <p>春日井第4団 5団</p> <p>夏キャンプ</p>		<p>第14号平成29年10月1日発行</p> <p>日本ボーイスカウト愛知連盟</p> <p>尾張東地区 組織拡充委員会</p> <p>広報部会 編集・発行</p> <p>編集責任者 中村 一徳</p>
---	--	--	--

◇ 「少し成長した夏のキャンプ」

江南第1団 カブ隊  
武田 千奈

私が夏のキャンプに行って楽しかったことを2つしようかいしようと思う。

前の、夏のキャンプに行ったときキャンプファイヤーのときにトーチをやるのははじめてだったからすごくきんちょうしてこわかった。でも、今年の夏のキャンプファイヤーのときは前トーチをやったことがあるから前よりきんちょうしなかった。

私は、くまだからカブではもう夏のキャンプに行けない。だけどボーイにあがったら、また、トーチをやりたいと思った。

次は、登山だ。すごくせまい道があったり、坂がきゅうな道があったから、とてもこわかった。でもちようじょうについたときは、ついてよかったと思った。山をくだるときは登ったときよりはかんたんだったけどみんないろんな所ですべってしまっていた。山はすべるし、ヒルがいろいろな所にいていままでにない体験をしました。



◇ 「2泊3日の夏キャンプ」

江南第1団 カブ隊  
大竹 智之

ぼくは、7月28、29、30とぎふ県の、大月の森公園に行きました。

初日はタイヤチューブでいかだをつくって川で遊びました。その際に水きりをして、5回もとんでうれしかったです。そのあとスイカわりをしました。けどたいちょうがスイカではなくビーチボールを用意していてそれで思いっきりやってなんとビーチボールをわらなくてだいのテーブルをうってあながあいてしまいました。そのときわれたかなーって思っていたけど見たらあながあいていてビックリしました。

2日目は朝からヒルに血をすわれていて、デコピンでふっとばしてしまいました。そしたら血があとからダラダラでてきましたそしておおぼら山という山にのぼって帰ってきてアマゴという魚をつかみどりしました。そして食べました。自分でとった魚はおいしかったです。そして7時30分に営火（キャンプファイヤー）をしました。それでぼくは火をつける係になりました。ぼくがいうことは「かんしゃの火。」「たすけあいの火。」と2つ言いました。そしてキャンプファイヤーが始まってすぐ、だしものをしました。いっしょうけんめい練習してきたことだからうまくやれました。



## ◇ 「夏のキャンプ」

江南第1団 カブ隊  
西村 ゆうき

ぼくは、2泊3日のキャンプやってすごくいんしょうにのこりました。1日目では、いかだをつくり、川であそびました。はじめてなのでこうふんしました。川の水は、きれいでつめたいです。愛知県とはちがう虫もいました。

夜のごはんを、ぼくはがんばってつくりました。

2日目は、朝からみんなささされていてとくんもささされていました。こん虫さがしでは、ぜんぜん、クワガタやカブト虫をみつけることができませんでした。そのあとでは、山ものぼりました。ジンくんはいっぱいヒルにささされていました。山をのぼりちょうじょうは、きりにつつまれていて、一面山しかみあたりませんでした。

そのつぎは、アマゴのつかみどりではぼくは6びきつかまえることができました。

そのつぎには、さわのぼりをしました。ぼくたちはらくしょうだったけれど女の子たちは、ぜんぜんのぼれていないのでみんなのところからやりました。そのあとは、いかだあそびをしました。はるきくんは、すごくたのしそうにやっていました。

3日目では、とくになにもやっていませんでした。2泊3日のキャンプは、たのしかったです。



## ◇ 「夏のキャンプ」

江南第1団 カブ隊  
松村 はるき



ぼくは、2泊3日で、一番楽しかった事は、川のぼりです。

最初は、岩も何も無いところからスタートして、いろんな滝をのぼり、アスレチックみたいでした。

ぼくのキャンプは、28日の金曜日でした。トイレで転んだり、ボールで遊んだりいろんな思い出を作ることができたのでまんぞくです。一番しんどかったことは山をのぼることでした。

とちゅうで、ヒルに止まってなかなか進めないこともあったけど、山から帰るときはヒルもいなくて安全に帰ることができました。

3日という少ない時間だったけど、ごはんもおいしかったし思い出を作れました。

キャンプファイヤーではドラエモンのげきでは、のび太君のセリフでスネ夫のことをしずかちゃんといってしまうというハプニングがおきてミスをしてしまったけど、そこから、たいせいをとりなおして、あやとりの場面ものりこえられることができました。

しょうにゆうどうも、めいろがむずかしかったです。

## ◇ 「いろいろな思い出」

江南第1団 カブ隊  
横山 春陽

わたしが夏のキャンプで一番楽しかったのは、さわのぼりです。友達といっしょに、急ながけをのぼったりしました。どこが楽しかったかという、がけを登る時に、まん中から登ると、すべるけれど、角から、べつの岩に登って、上に行くことです。次に楽しかったことは、魚のつかみどりです。30ぴきちゅう2ひきしかとれなかったけど、塩をつけてたべたので、おいしかったです。2日目に、大洞山に登った時、大洞山には、ヒルがいたので、こわかったです。最後までヒルにさされなかったのがよかったです。わたしは、1日目のばんごはんに、たまねぎ、とうふなどを切って、がんばりました。とうふがきぬだったので、切りにくかったです。2日目のばんは、ごはん、3日目の朝もごはんを作りました。自分たちで作ったごはんはとてもおいしかったです。今まで行ったキャンプで、一番わすれものが多かったです。いろんなことがありましたが、あつというまで、楽しい夏のキャンプでした。



#### ◇ 「楽しかった夏のキャンプ」

江南第1団 カブ隊  
稲葉 琴葉

わたしは、キャンプで、おふろにはいりおわった後トラックの後ろにのってほたるを見にいきました。一ぴきだけ光が強いひめぼた

るがいました。ほたるを見にいくとちゅうの森で、木と木のあいだに顔が見えそうで怖かったです。

わたしは、家ではお手つだいだけだけど、キャンプではにんじんを切ったり、たまねぎを切ったりしました。たまねぎを切った時は、目にしみてなみだが出そうでした。キャンプで一番おいしかったりようりは、マシュマロをやいてクッキーではさんだのです。マシュマロをやくと中がとろとろになって、ふくらんでおいしかったです。もう一つおいしかったのは、魚をつかみどりをして、くしをさしてやいた魚です。ほねがあったけどおいしかったです。

2日目の朝には、山登りに行きました。わたしは、じ面がごつごつしたところはおんぶしてもらって、大きい岩のところは、下からあげてもらってたすかりました。山登りから帰ったころは、ぎゅうにゅうを使ったかん天を作りました。みかんは半分に使ってぎゅうにゅうの中に入れました。ちょっとあまかったけどおいしかったです。そのあと雨がふったので、ドラエモンのげきのれんしゅうをしました。わたしは、しずかちゃんのやくでした。キャンプファイヤーでうまくげきができたのでよかったです。



3日目は、しょうにゅうどうに行きました。しょうにゅうどうには、おにのつめと言うだいなやりゅうの形をした岩がありました。しょうにゅうどうの中は、広くてきむくて、おもしろかったです。

はじめてみんなでとまって、ねるまえにし

りとりをしてたのしかったです。また、みんなでもとまりたいです。

### ◇ 「キャンプの思い出」

春日井第5団  
ビーバー隊 橋本真奈

ビーバーたいのだしもので、チェッコリッサをおどってたのしくて、もう1かいおどりたいと思いました。

キャンプファイヤーで、アブラハムとたんじょうびの人があつまるのがたのしかったです。

あとドラムカンのおふろで二人でちょっと入って、しょうこちゃんが「おふろをでよ。」っといっただきもちよくてもっと入ってました。そしてごはんがそとでたべれるとおもったらなかになっちゃってしまってざんねんでした。あとは、ごへいもちやながしそうめんがたのしかったです。



### ◇ 「夏のキャンプ」

江南第3団 カブ隊  
日比野 哉士

カブスカウトで、夏の舎営へ行きました。今年は御殿山で行いました。一番楽しかったことは、近くの川でワナをしかけて魚やカニをつかまえたことです。川の水は少し冷たかったけれど、魚たちは元気なのですごいと思

いました。ぼくは、魚は1ぴきもつかまえられなかったけれど、カニを最後に1ぴきつかまえられました。カニがかわいかったです。



### ◇ 「この坂を登れば、キャンプ場だ」

春日井第4団 BS 隊  
市川 翔也

僕は自転車をこぎながらそう思った。これはぼくが体験したGWのサイクリングの話である。

今年のGWは、岐阜県大垣市に行った。片道62km。これまで後ろから眺め、ついていったが今年は違う。班長として一番前を走った。班長は責任重大だ。僕はうまく走れるか不安だった。班長として何をすべきか、そればかり考えていた。後ろを確認して程よい速さに変える、行程の確認、安全への注意など、考えるべきことはたくさんあった。何度か道を間違えたこともあった。



しかし、その一方で、自転車で走ることを楽しんだ。ガタガタとなる鉄橋、新幹線が横を過ぎ去っていく景色や顔にあたる風を楽しみながら走ることができた。

そして、ぼくたちの班は、坂を上りきり、目的地の山の上のキャンプ場へと無事に着くことができた。明日の観光が楽しみだ。そう思いながらその日は早めに寝た。

#### ◇ 「私の課題」

春日井第4団 BS 隊  
小境 くるみ

私がボーイスカウトをやってきた中で一番思い出に残っていた活動はサイクリングです。サイクリングは私が班長になってからの初めての壁でした。なぜかと言うとみんなを誘導させるという初めての大きな課題だったからです。

初め私は少しだけ怖かったです。でもだんだん慣れてきて勇気がつきました。ですが私はサイクリングの途中でどの速さで進んだらいいのかわからなくなってしまい、遅くなってしまいました。

そんなときは私の仲間が「もっとペースを上げてもいいよ」と言ってくれました。私はいい仲間をもったんだなと思い、この経験を踏まえて私は班長として模範となる人になりたいとそう思いました。そのためには自分自身が変わらなくてはいけないと思ったので、これからはこの事を心に刻んでスカウト活動をやっていこうと思います。



#### ◇ 「サイクリング」

春日井第4団 BS 隊  
小境 健史

平成29年5月3日から3日間僕たちボーイスカウト春日井第4団ボーイスカウト隊は、目的地の大垣市へ向かってこぎ出しました。

何度か、道に迷ったことがあった。長い上り坂で、つらいと思う時もあった。それでも、班で力を合わせて、無事目的地に着きました。

それからは、いつものキャンプと同じように設営をしてご飯を作ってみんなで食べて・・・そんな何気ない時間も、僕は大好きです。

2日目では、とある近くのお城を見に行きました。もちろん自転車で。しかし、そのことよりも、印象に残ったのは、水がたまっているトンネルの中を通ったことです。あれは本当におどろきました。

3日目は下り坂か、平たんな道がほとんどだったので行きよりは楽でした。

ボーイスカウトの仲間と駆け抜けた3日間は、今でも忘れられない思い出です。



#### ◇ 「火おこし体験をして・・・」

日進第2団  
ビーバー隊 水野陽太

8月11日～14日に長野県の阿南少年自然の家というところへ3泊4日の長期舎営に行きました。登山、魚つかみや野外すいはんなどい

ろいろなことをやりました。その中で一番心に残ったことは「火おこし体験」です。

まず、火おこしの道具で木をけずりそのままつで火種を作ります。その火種をティッシュペーパーにくるみ、新聞紙に入れて丸め針金のついた丸い道具に入れて回します。2分くらいも回し続けて「ポーポー」と音になり、少ししてからようやく火がつけました。

この体験で昔の人がどのようにして火を作ったかがわかり、今は簡単につく火がこんなにも大変だったのだとおどろきました。



**【編集者より】**

次号は、2月末原稿締め切り、3月発行予定です。

秋から冬にかけて各団いろんなプログラムがあります、記事をお待ちしています。

尚、投稿は常時受け付けています。